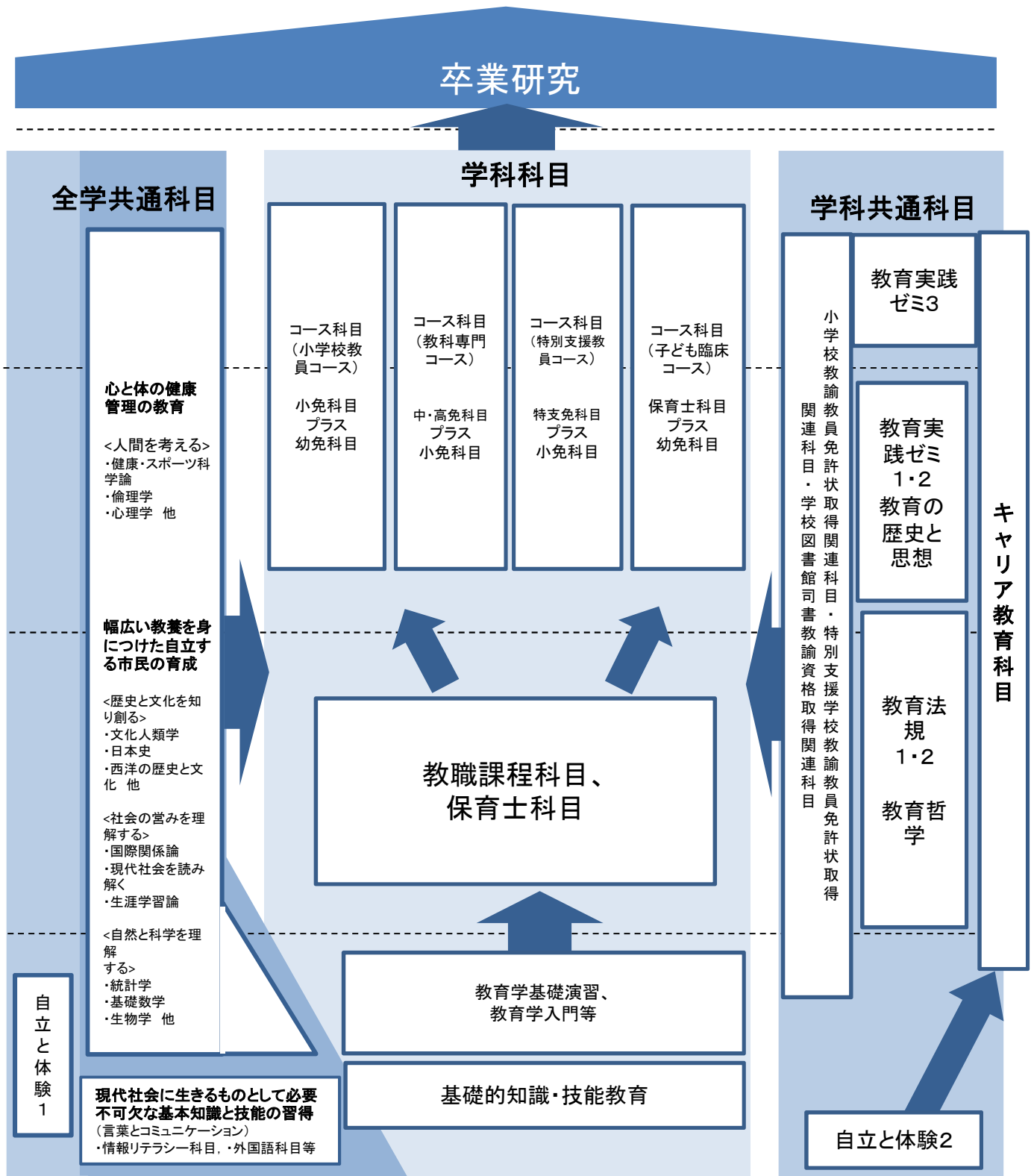


# 教育学部教育学科(通信課程)の教育課程体系図



## 教育学部 教育学科（通信課程）の主要科目

| 主要科目  | 特徴   |
|-------|--|
| 教職入門  | 現在の教員に何が求められているかなど基本的な内容を理解すること、教員の専門性や教職の魅力と責任について理解を深めること、教員の適格性を身につけるために何を努力すればよいか自己課題を知ること、授業を通じて思考力、洞察力、分析力をつけることなどを学びます。 |
| 教育哲学  | 有史に刻み込まれた内外の教育思想を概説し、子ども観の歴史に強い影響力をもったルソーの教育思想を詳説しながら、現代の教育問題に関連づけて「子どもの視点で教育を考える」をテーマに、私たちの「生き方」を深く考える姿勢を養います。                |
| 発達障害論 | 発達障がいについて、医学・生理学的な基礎知識を学びながら、正常な小児の発達と成長に比して、発達障がいの病因と疫学、診断、治療および予後予測を概観することで理解を深め、熱意ある人間性豊かな発達障がい児支援教育者としての基盤を形成します。          |
| 保育者論  | 児童福祉施設や教育・保育施設などで働く保育者の職務や専門性などについて学び、「保育者」について全般的に理解することが本授業の目標です。授業では、保育・福祉現場に入った時に、子どもや利用者と楽しめるように、毎回手遊びを行います。              |

通信制大学院 教育学研究科教育学専攻 カリキュラムツリー

| 科目区分       | 分類 | 1年                          |                               | 2年        |  |
|------------|----|-----------------------------|-------------------------------|-----------|--|
| 授業研究領域     | 1  | 授業研究A(歴史・理論) 411            | 授業研究演習A(歴史・理論) 412            |           |  |
|            |    | 授業研究B(実践・評価) 413            | 授業研究演習B(実践・評価) 414            |           |  |
|            |    | 授業研究C(情報教育) 415             | 授業研究演習C(情報教育) 416             |           |  |
|            |    | 授業研究D(教育社会学) 417            | 授業研究演習D(教育社会学) 418            |           |  |
|            |    | 授業研究E(教育心理学) 419            | 授業研究演習E(教育心理学) 420            |           |  |
|            |    | 授業研究F(教育行財政) 421            | 授業研究演習F(教育行財政) 422            |           |  |
|            |    |                             | 授業研究演習G(生涯学習) 423             |           |  |
|            |    |                             | 授業研究演習H(基礎看護) 424             |           |  |
| 幼児教育研究領域   | 2  | 幼児教育研究A(保育) 431             | 幼児教育研究演習A(保育) 432             |           |  |
|            |    | 幼児教育研究B(児童文化) 433           | 幼児教育研究演習B(児童文化) 434           |           |  |
|            |    | 幼児教育研究C(児童家庭福祉) 435         | 幼児教育研究演習C(児童家庭福祉) 436         |           |  |
|            |    | 幼児教育研究D(音楽教育) 437           | 幼児教育研究演習D(音楽教育) 438           |           |  |
| 障害児者教育研究領域 | 3  | 障害児者教育研究A(障害児者の学習・発達支援) 441 | 障害児者教育研究演習A(障害児者の学習・発達支援) 442 |           |  |
|            |    | 障害児者教育研究B(障害児者自立支援) 443     | 障害児者教育研究演習B(障害児者自立支援) 444     |           |  |
|            |    | 障害児者教育研究C(小児保健) 445         | 障害児者教育研究演習C(小児保健) 446         |           |  |
| 論文指導科目     | 6  |                             |                               | 教育学演習 501 |  |

講義科目  
演習・実験科目  
論文指導科目

| 科目数 | 授業研究領域 | 幼児教育研究領域 | 障害児者教育研究領域 | 論文指導科目 | 合計 |
|-----|--------|----------|------------|--------|----|
|     | 14     | 8        | 6          | 0      | 28 |
|     |        |          |            |        | 1  |
|     |        |          |            |        | 29 |

通信制大学院 教育学研究科教育学専攻

| 研究領域       | 科目名  | 特徴   |
|------------|--|--|
| 授業研究領域     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業研究A（歴史・理論）</li> <li>○授業研究B（実践・評価）</li> <li>○授業研究C（情報教育）</li> <li>○授業研究D（教育社会学）</li> <li>○授業研究E（教育心理学）</li> <li>○授業研究F（教育行財政）</li> <li>○授業研究演習A（歴史・理論）</li> <li>○授業研究演習B（実践・評価）</li> <li>○授業研究演習C（情報教育）</li> <li>○授業研究演習D（教育社会学）</li> <li>○授業研究演習E（教育心理学）</li> <li>○授業研究演習F（教育行財政）</li> <li>○授業教育演習H（基礎看護）</li> </ul> | <p>本領域では、授業を実践していく中で日常的に発生する問題の考察からスタートし、基礎を固めた上で研究を進展させていきます。教育学の基礎を学習せずに、教育の仕事に従事している学生が多いという実情を踏まえ、このような研究スタイルを採用しています。また、自明なものとして一般的に認められている教育的考え方を、視点を変えて見直すことで、先入観にとらわれない姿勢を身につけていきます。仕事をしていく中で、自らの専門性によって狭くなってしまった視野を、研究を通して広げていくのです。実践と理論を繰り返し行き来することで、知識や経験を「使えるかたち」に変え、授業実践に活かすことが目的です。</p>    |
| 幼児教育研究領域   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児教育研究A（保育）</li> <li>○幼児教育研究B（児童文化）</li> <li>○幼児教育研究C（児童家庭福祉）</li> <li>○幼児教育研究D（音楽教育）</li> <li>○幼児教育研究演習A（保育）</li> <li>○幼児教育研究演習B（児童文化）</li> <li>○幼児教育研究演習D（音楽教育）</li> </ul>   | <p>本領域では、子どもの発達、教育方法を中心に、さまざまな子育て支援のかたちについて幅広く研究を進めていきます。幼児教育の現場に立っている学生が多く、それぞれが向き合っている課題を共有し、共に解決してノウハウとして展開したいという想いで研究に取り組んでいます。家庭環境、保育施設など、幼児教育を取り巻く問題が多様化する現代。このような現場の経験を持ち寄って、それを共に解決していくことは、その課題を社会で役立つ理論に変えることができる取り組みだと考えています。本領域での研究が、現在の仕事のステップアップはもとより、生涯をかけて解決すべきテーマとの出会いとなることを目指しています。</p> |
| 障害児者教育研究領域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○障害児者教育研究A（障害児者の学習・発達支援）</li> <li>○障害児者教育研究B（障害児者自立支援）</li> <li>○障害児者教育研究C（小児保健）</li> <li>○障害児者教育研究演習A（障害児者の学習・発達支援）</li> <li>○障害児者教育研究演習B（障害児者自立支援）</li> <li>○障害児者教育研究演習C（小児保健）</li> </ul>   | <p>本領域では、多様な障がい特性の理解を土台とし、障がいのある子どもの教育、支援、発達や評価などについて包括的に研究を進めていきます。障がい児者教育においては、子ども一人ひとりの違いを深く理解することが重要です。それが個性を伸ばす、理想の教育の第一歩となるからです。学生たちは、そのような理想の障がい児者の実現を目指して、障がい児者に対する支援計画の構築と実施、障がい児者を抱える家庭の支援、音楽療法の方法論などについての研究に、熱心に取り組んでいます。子どもとしっかりと向き合うことができる、未来の障がい児者教育の担い手を一人でも多く輩出することが目標です。</p>            |